



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

図書館のこぼれ話

レファレンス協同データベース(国立国会図書館が全国の図書館などと協同で構築する調べ物のための情報検索システム)への貢献が認められ、6年連続で国立国会図書館長からお礼状をいただきました。



図書館に入った本

毎月たくさんの本やCDが入るよ！
一部を紹介するね♪

『東海日帰りハイキング こだわり徹底コースガイド』

東海山歩き倶楽部／著 メイツ出版
ぶらっとお散歩から穴場絶景スポットまで、日帰りで気軽に自然と触れ合える東海のハイキングにおすすめの56コースを、分かりやすい地図と写真で紹介します。



『イザベルに薔薇を』

伊集院 静／著 双葉社

『おまじない』

西 加奈子／著 筑摩書房



『歩くだけでやせる！通勤ヨガ』

辻 良史／著 山と溪谷社

『ライザップ式2週間ダイエットレシピ』

ライザップ株式会社／監修 日本文芸社



『熟年離婚、したくなければズボラ婚。』

池田 明子／著 双葉社

『母の家がごみ屋敷』

高齢者セルフネグレクト問題

工藤 哲／著 毎日新聞出版



『舞の海秀平と学ぶ』

知れば知るほど大相撲』

舞の海 秀平ほか／著

※デジー図書は、本を読むのが困難な方のための、録音図書です。

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は
お気軽に職員にお尋ねください。

魚もいろいろ考える

読む



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

■魚の社会

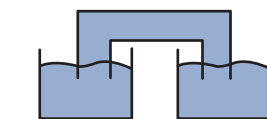
水族館で魚たちを見てみると、追いかけてっこをしたり、2匹で寄り添っていたり、いかにもヒマそうな態度だったりさまざまな様子がうかがえます。ガラス越しに魚たちも人間(観覧者)が見えているので実は魚の方が逆に人間を見ている時もあります。そんな彼らの様子を見て「実際には何か考えているのだろうか、彼らは彼ら同士で話ができるのだろうか」などと思う事はないでしょうか。

■ハーレム実験

検証するためにある実験をしました。両水槽を自由に行き来できる通路でつなげた2つの水槽を用意。その中にメダカの雄を1匹、メスを3匹入れます。世の男性がうらやむハーレム状態です。入れてすぐはそれぞれバラバラに泳ぎ、自分が今どこにいてどのような状態なのかを探る動きをし

■ハーレムすぎる実験

次にメス10匹に対して雄を1匹という男性が「なんて素晴らしー」と思える状態で飼育すると、これがまさかの展開で、多すぎる



2水槽を行き来できる実験水槽
(通路内は水で満たされている)

ます。環境に慣れると、4匹は同じ水槽で一緒に暮らし始めます。しかし、そのうちメスは1匹の雄の取り合いになり喧嘩を始め、弱いメスは水槽と水槽をつなぐ狭い通路部分に強いメスに追いやられてしまします。雄のいる広い水槽エリアに入ると一緒にいる強いメスが怒って追いやります。研究ではメダカは同水槽中にいる自分以外のメダカを100匹くらいは軽く認識できているようで、人間にはみんな同じように見えるけど顔が違うようです。そこにはメダカの社会、世の中があるようです。彼らは彼らなりに毎日何かいろいろ考えていて毎日さまざまな喜びや悲しみがあるようです。